

令和4年(2022年)1月19日

関係大学長
関係機関長 様

名古屋市立大学大学院人間文化研究科長
山本 明代(公印省略)

教員の公募について(依頼)

このたび、本研究科では下記の要領で教員を公募いたします。
つきましては、この旨を関係学部・大学院等に広くお知らせくださいますよう、お願い申し上げます。

記

1. 所属 名古屋市立大学大学院人間文化研究科社会と教育コース(人文社会学部国際文化学科)
2. 職名・人員 教授、准教授または講師 1名
3. 専門分野 英語教育学
4. 担当予定科目 大学院:人間文化研究科の科目:「英語教育研究A・B」
人文社会学部:「英語科教育法A・B・C・D」、「教職実践演習(中・高)」、「教育実習」、「発展演習」、「専門演習1~4」、「卒業論文」、ESD基礎科目(オムニバス)、教養英語等
5. 応募資格 以下に挙げる要件を全て満たす者。
(1)博士の学位を有する者。またはこれと同等の研究業績を有する者。
(2)学内での業務および学生指導に意欲を有する者。
(3)主に名古屋市を中心とした社会的活動として、高大連携など大学内外での教育研修活動に積極的に取り組む意欲を有し、英語入試改革に熱意がある者。
(4)持続可能な社会の実現(sustainable development)という課題に関心があり、本学でのESD、SDGsに関係する諸活動を推進していく意欲を有する者。
(5)文部科学省の教職課程認定(再課程認定を含む)において「各教科の指導法(英語)」の教員審査に合格しているか、審査に合格するだけの過去10年以内の十分な業績を有し、教員の養成と英語教職課程の運営に熱意がある者。
(6)採用後は、名古屋市またはその周辺に居住できる者。
6. 採用予定日 令和4年(2022年)9月1日
7. 応募期限 令和4年(2022年)4月22日(金)(必着)
8. 提出書類 (1)履歴書(別紙様式による A4判)
最終学歴を証明する公的文書のコピーを添付すること
(2)研究業績目録(別紙様式による A4判)
著書・論文などのうち主要なもの5点以内(修士論文は除外、博士論文は含む)に○印をつけること(連載論文はまとめて1点と数えること)
(3)応募必要事項記入用紙(別紙様式による A4判)
(4)研究業績目録で○印をつけた5点以内の著書・論文等の概要(様式自由、1点ごとにA4判1枚で日本語400字以内の要約を作成すること)
(5)研究業績目録で○印をつけた5点以内の著書・論文の原本または抜き刷りまたはそのコピーを各1部

(6) ①英語教員養成の抱負について、②これから
の大学英語入試のあり方に関するあなたの考えについて (各 A4 判 1 枚程度、様式自由
の 2 点)

*上記 (1) ~ (6) の書類一式と、(1) (2) (4) (6) の PDF ファイル、(3) のエクセル
ファイルを収めた CD、DVD、または USB メモリを同封してください。

9. 提出先 〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1 番地
名古屋市立大学大学院人間文化研究科長 宛
(なお、提出書類は、〔簡易書留〕で郵送、またはそれに類する方法で送り、封筒に「英語教
育学教員応募関係書類」と朱書きすること)
10. 照会先 名古屋市立大学大学院人間文化研究科
照会は原則として e-mail でお願いします。
(e-mail : recruit_eigokyoiku2022@hum.nagoya-cu.ac.jp)
11. その他 (1)提出された応募書類により取得した情報は、当該選考目的以外には使用しません。提出さ
れた応募書類は、原則として返却しません (選考終了後に、適正に廃棄します)。なお、
応募書類等の返却を希望される場合は、返却希望の旨を明記の上、返信切手を貼り返送先
を記した封筒を同封してください。
(2)選考の最終過程で面接を実施します (面接時の旅費支給は行いませんので、ご了解くださ
い)。
(3)採用予定者となった場合には、名古屋市立大学病院で健康診断を受けていただきます。
(4)「履歴書」「研究業績目録」「応募必要事項記入用紙」の別紙様式 A4 版は、「JREC-IN Portal」
の当該求人公募情報のページ、または、人間文化研究科ホームページからダウンロードし
て下さい。
(5)名古屋市立大学では男女共同参画を推進しており、教員の採用、昇任においては、業績と
能力が同等であるならば、女性を積極的に採用し、昇任させます。
(6)本学は敷地内禁煙を実施しており、教職員には、この方針を遵守していただくとともに、
大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。
(7)本学の教員の定年は、満 65 歳です。